

## 学校法人金沢医科大学 平成17年度決算

去る5月30日(火)開催の第183回理事会及び第95回評議員会において、学校法人金沢医科大学の平成17年度決算が承認されました。決算の概要及び収支等の状況について、次のとおりご報告いたします。

### 1. 概要

私学を取り巻く厳しい経営環境が続く中、平成17年度は大学及び病院の将来の発展につながる事業に積極的に取り組みました。教育面では医学教育センターを設置し、専任教員を配置するとともに教育環境の整備を行いました。研究面では総合医学研究所の移転及び共同利用研究機器の導入により、研究環境の基盤整備を行いました。診療面では病院本館に21世紀集学的医療センターを展開し、患者中心医療の拠点を整備しました。また、病院機能評価受審に対する環境整備を推進するとともに、病院第二期整備計画の一環としての第2新館建設に着手しました。

そのほか、海外交流事業や医学部奨学事業の推進のための積立てや、将来の退職金債務に備えるための資金確保についても予定額の積立を行いました。

その結果、収入面では医療収入が前年度を4億7千万円下回ったものの資産運用収入で前年度を2億8千万円上回ったこと等により、帰属収入合計は前年度比約1億円減の240億6千万円となりました。また支出面では人件費が前年度比1億1千万円の減、医療経費が前年度比5億4千万円の減となったこと等により、支出合計が前年度を4億8千万円下回る235億円となりましたので、帰属収支差額(正味財産増加額)は5億6千万円の収入超過という結果となりました。

以下、平成17年度決算の概要について説明いたします。

### 2. 消費収支計算書の状況

#### 【主な収入】

#### (1) 学生生徒等納付金

医学部学生数の増加等により、前年比1億2千万円増の43億6千8百万円となりました。学生数は、医学部生641名、大学院生68名、看護学校生180名の合計889名です。

#### (2) 寄付金

寄付金総額は、前年比5千1百万円減の9億2千8百万円となりました。

特別寄付金は、寄附講座への寄付金その他で3千万円となりました。

一般寄付金は、17年度入学生からの教育振興資金寄付金が4億5千5百万円、学術振興基金制度によるものが4億3千3百万円の合計8億8千8百万円でした。

現物寄付金は、科学研究費補助金で購入した研究機器の受入れ及び後援会橋会からの救命艇の受贈等で1千万円となりました。

#### (3) 補助金

補助金総額は、前年度とほぼ同額の12億4千7百万円となりました。

そのうち、私立大学等経常費補助金は前年比4千2百万円減の10億4千万円となり、また、文部科学省研究施設・設備補助金は前年比8千8百万円増の9千3百万円となりました。そのほか臨床研修費補助金7千9百万円及び地方公共団体ほかからの補助金3千5百万円が交付されました。

#### (4) 医療収入

医療収入総額は、前年比4億7千5百万円減の166億7千6百万円となりました。

入院収入は、入院診療単価及び病床利用率は前年度を若干上回ったものの、実稼働病床数を前年度より59床休床としたことにより入院延患者数が5.7%減少したため、前年比4億5千7百万円減の126億2千7百万円となりました。

一方、外来収入は、外来延患者数が2.4%減少したものの外来診療単価の増等により、前年比1千8百万円減の40億4千9百万円となりました。

なお、医療収入の帰属収入に占める割合は69.3%(前年度71.0%)となりました。

### 【主な費用】

#### (1) 人件費

教員人件費は前年度とほぼ同額の33億5千1百万円、職員人件費は前年比6千2百万円増の71億5千9百万円、役員報酬は前年度とほぼ同額の7千万円、退職給与引当金繰入額及び退職金は前年比1億7千6百万円減の6億8百万円となり、人件費総額では前年比1億1千4百万円減となる111億8千8百万円となりました。

なお、人件費の帰属収入に占める割合は46.5%(前年度46.8%)となりました。

#### (2) 教育研究経費

事業計画に基づく教育研究事業を実施した結果、教育研究経費は前年比1億1百万円増の13億9千8百万円となりました。

#### (3) 医療経費

医療経費は、前年比5億4千5百万円減の79億8千3百万円となりました。これは、院外処方箋発行率が高くなったことや実稼働病床の休床に伴い薬品費等の材料費が3億4千3百万円減少したこと及びその他の医療経費で2億2百万円減少したためです。

なお、医療経費の医療収入に占める割合は47.9%(前年度49.7%)、また、帰属収入に占める割合は33.2%(同35.3%)となりました。

#### (4) 減価償却額及び処分差額等

減価償却額及び資産処分差額の合計額は、前年比1千6百万円増の24億5千9百万円となりました。このうち、病院部門の減価償却額及び資産処分差額等は、病院新館の建物・医療機器等の償却額を含め、前年比9千1百万円増の16億5千1百万円となりました。

## 消費収支計算書

(自)平成17年4月1日

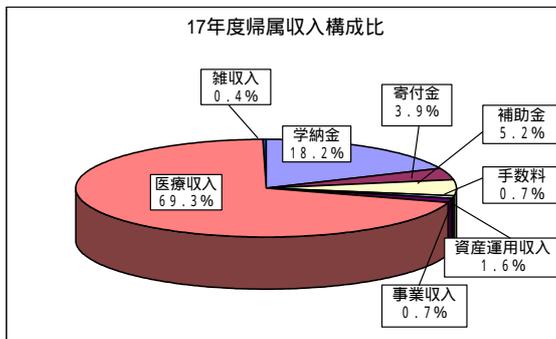
(至)平成18年3月31日

(単位：百万円)

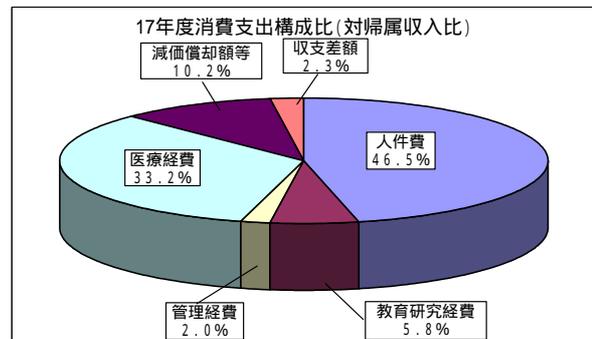
消費収入の部			消費支出の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
学生生徒等納付金	4,368	120	人件費	11,188	114
手数料	161	38	教育研究経費	1,398	101
寄付金	928	51	医療経費	7,983	545
補助金	1,247	2	管理経費	471	57
資産運用収入	396	283	借入金等利息	0	0
事業収入	201	17	減価償却額及び		
医療収入	16,676	475	資産処分差額等	2,459	16
雑収入	86	28			
帰属収入合計	24,063	98	消費支出の部合計	23,499	485
			(正味財産増加額)	(564)	(387)
基本金組入額	590	534	消費収支差額	26	147
消費収入の部合計	23,473	632	基本金取崩額	541	541

(注) は計算書式上のマイナス表示、 は比較上のマイナスを表示(以下同じ)。  
前年比は平成16年度決算との比較です。

### 平成17年度消費収支の科目別構成比



帰属収入 24,063 百万円



消費支出 23,499 百万円

### 3. 資金収支計算書の状況

#### 【主な資金収入・支出】

消費収支計算書で説明した項目については割愛させていただきます。

#### (1) 借入金等収入

学校債により5億6千1百万円の資金調達を行いました。

#### (2) 借入金等返済支出

学校債の定期償還及び繰上償還等で、5億2千万円の償還を実施しました。

#### (3) 施設・設備関係支出

施設関係では、病院本館と新館をつなぐ連絡廊下建設工事に3億6千2百万円、総合医学研究所移転改修工事に1億1千6百万円、21世紀集学的医療センター設置工事に1億円及び病院第2新館建設工事着手金に8億2千3百万円ほかで、合計15億1千2百万円、設備関係では、細胞培養イメージングシステムを含む教育研究用機器1億3千7百万円（うち、補助金交付額2千万円）、結石破碎波治療器を含む病院医療用機器4億5千4百万円、図書整備費1千万円及び病院バス更新費1千3百万円ほかで、合計6億1千7百万円を支出しました。

#### (4) 資産運用支出

将来の退職金債務に対する財源を確保するため退職給与引当特定資産に5億円、前年度から積立てを開始した医学教育海外交流引当特定資産に5千万円、また、新たに設定した医学部奨学事業引当特定資産に1億円の合計6億5千万円を積立てました。

資 金 収 支 計 算 書

(自)平成17年4月1日

(至)平成18年3月31日

(単位：百万円)

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	前年比	科 目	金 額	前年比
学生生徒等納付金収入	4,368	120	人件費支出	10,980	89
手数料収入	161	38	教育研究経費支出	1,398	101
寄付金収入	918	47	医療経費支出	7,991	557
補助金収入	1,247	2	管理経費支出	472	59
資産運用収入	396	283	借入金等利息支出	0	0
資産売却収入	5	2	借入金等返済支出	592	76
事業収入	201	17	施設関係支出	1,512	1,432
医療収入	16,676	475	設備関係支出	617	6
雑収入	86	28	資産運用支出	650	2,400
借入金等収入	561	31	その他の支出	3,087	682
前受金収入	4,255	40			
その他の収入	3,145	331			
資金収入調整勘定	7,113	141	資金支出調整勘定	2,253	531
前年度繰越支払資金	5,426	194	次年度繰越支払資金	5,286	140
収入の部合計	30,332	299	支出の部合計	30,332	299

#### 4. 貸借対照表の状況

##### 【主な増減】

##### (1) 資産の部

資産総額は、前年比2億6千9百万円増の574億4千9百万円となりました。

退職給与引当特定資産は、積立分が増加し46億3千8百万円となりました。これは、退職給与引当金残高の62.3%に相当します。

医学教育海外交流引当特定資産は、積立分が増加し1億円となりました。

また、新たに医学部奨学事業引当特定資産を設け、1億円を積立てました。

流動資産のうち、現金預金は1億4千万円減の52億8千6百万円となりました。

##### (2) 負債の部

負債総額は、前年比2億9千5百万円減の184億8百万円となりました。

退職給与引当金は、取崩しと繰入れを行った結果、前年比2億8百万円増の74億4千4百万円となりました。

- (3) 正味財産は、前年比5億6千4百万円増の390億4千1百万円となりました。この結果、資産総額に対する正味財産の割合は68.0%（前年度67.3%）となり、前年度より0.7%増加しました。私立医大平均（16年度末の単科医大11校平均値）は69.2%であり、これに対しては1.2ポイント下回る結果となっております。

なお、情報公開の一環として、平成17年度財務関係書類（財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監査報告書）を本学のホームページ上に掲載しています。  
(<http://www.kanazawa-med.ac.jp> 「平成17年度事業報告及び決算について」)

貸借対照表

平成18年3月31日現在

(単位：百万円)

資産の部			負債の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
固定資産	49,077	356	固定負債	11,407	347
土地	3,098	0	長期借入金、学校債	3,963	139
建物、構築物他	23,448	80	退職給与引当金	7,444	208
教育研究用機器備品他	4,797	384	流動負債	7,001	642
図書	1,196	10	短期借入金、学校債	185	171
退職給与引当特定資産	4,638	500	未払金	2,252	531
減価償却引当特定資産	9,200	0	前受金他	4,564	60
施設拡充引当特定資産	2,500	0	負債の部合計	18,408	295
海外交流引当特定資産	100	50	正味財産の部		
奨学事業引当特定資産	100	100	科目	金額	前年比
流動資産	8,372	87	基本金	58,116	49
現金預金	5,286	140	消費収支差額	19,075	515
未収入金	2,868	32	正味財産の部合計	39,041	564
貯蔵品他	218	21	負債の部及び正味財産の部合計	57,449	269
資産の部合計	57,449	269			

(注) 減価償却額の累計額は26,247百万円です。

退職給与引当金の額は、期末要支給額7,444百万円の100%を計上しています。